2022年

東京理科大学

薬学部同窓会へようこそ









CONTENTS

1. 🕏	会長あいさつ
2. [
	····· 2•3•4
	東京理科大学薬学部同窓会に ついて
	5
4 . [司窓会会則
	····· 6•7
	東京理科大学薬学部同窓会への お問い合わせ
	g

東京理科大学薬学部同窓会

東京理科大学薬学部同窓会は、1987年 (昭和62年) に発足し、現在では1万人 の卒業生で構成される大きな組織と なりました。平成27年度から理窓会 の関連団体として活動しています。



会長あいさつ



東京理科大学薬学部教授 (株)ファーミック 代表取締役 上村 直樹 (23期)

東京理科大学薬学部同窓会会長の上村直樹です。私は4代目の会長とな ります。東京理科大学には理窓会という全学部の同窓会がありますが、薬 学部同窓会はそれとは別に薬学部同窓だけの組織です。設立して 33 年が経 ちました。皆さんは卒業と同時に薬学部同窓会の会員となります。

当会は2015年に理窓会の関連団体に認められ、現在では相互に協力し て活動しています。薬学部同窓会の主な目的は、薬学部同窓相互の親睦と 薬学部の発展に寄与することです。定例会は誰でも参加でき、年4回神楽 坂で開催しています。終了後は懇親会を必ず開催して、同期だけでなく、 世代を通した親睦を深めていましたが、2020年からのコロナ禍では、オン ライン開催に切り替えました。デメリットだけでなく、地方からの参加も 可能となり、収束後もハイブリッドで開催する予定です。現在は延期して いますが、年に1回の総会では特別講演も開催され、会員の学識と職能の 向上を図っています。総会を担当した幹事の同期会も開催され大変盛り上 がっています。地方に戻られている会員のために、地区交流会も日本薬剤 師会学術大会に合わせて毎年開催しています。また、大学との連携として、 卒業5年以内のフレッシュマンや管理職に母校に来ていただき、就職懇話 会や実践社会薬学講座に協力して、母校の発展や在校生との交流も積極的 に図っています。皆さんも卒業後は是非母校に戻り、後輩の為に助言をし てください。

若い方は同窓会のメリットがわからないと言います。しかし、今の自分 があるのは、先輩・後輩を問わず同窓生とのつながりが大きなウェイトを 占めていることに気づきます。卒業してから責任のある立場に就く頃にな ると、ほとんどの同窓生が同じことを言います。つまりそれは真実なので す。すぐにメリットなどありません。真のメリットは振り返ってみてわか るものです。

薬学部同窓会があなたの人生をサポートします。一緒に活動しましょう。 定例会や総会についてはホームページで確認していただき、同期のお友 達をお誘いのうえ、ご参加ください。お待ちしています。

同窓生からのメッセージ



中酒 明子 (29期 平成4年 (1992年) 薬学科卒)

1 12	-	711		
【略歴】				
1992	年	東京理	里科大学薬学部薬学科 卒業	
1992	年 :	エーサ	げイ株式会社入社 研究開発本部 開発部	
2002	年	同	筑波研究所 研開プロジェクトマネジメント室	
2006	年	同	臨床研究センター 政策推進室	
2010	年		ジャパン/アジアクリニカルリサーチ創薬ユニット 政策推進部 🥫	部長
2014	年	同	ジャパン/アジアクリニカルリサーチ創薬ユニット 臨床開発部 ;	部長
2016	年	同	メディスン開発センター	
			日本・アジアレギュラトリー&アジアクリニカルオペレーションズ部	部長
2017	年~	同	メディスン開発センター(センター長(執行役)	

29 期の中濱と申します。私は、大学卒業後、エーザイ株式会社に入社し、臨床開発部に配属となりました。当 時は女性 MR もまだ存在しないような時代でしたが、エーザイは比較的オープンな会社で、臨床開発モニターとし て全国の医療機関を訪問しました。また、プロジェクトリーダーとして初めて承認申請を達成した時の感動は、今 でも鮮明に覚えております。その後、筑波研究所で4年間、研究開発のプロジェクトマネジメント業務を担った 後、東京本社に戻り、日本・アジアの臨床開発やレギュラトリーを担当し、2017年より現職のメディスン開発セ ンター長を務めております。現組織は、原薬・製剤開発、非臨床安全性、薬事等の開発研究機能を担うグローバル 組織です。入社時から、社内には理科大の先輩・後輩が非常に多く、とても心強いです。また、他の製薬会社の理 科大の方と一緒にお仕事をさせて頂く機会が年々増えており、会社が違うにも関わらず、本当に親身になって助け て頂いております。初めてお会いしても理科大卒であることで繋がる、同窓という絆の有難さを実感しております。 COVID-19 が終息し、同窓会で皆さまにお会いできることを楽しみにしております。



鈴木 貴明 (34期 平成9年 (1997年) 薬学科卒)

【略歴】

1997年 3 月 東京理科大学薬学部薬学科卒業

1999年3月 千葉大学大学院薬学研究科博士前期課程修了

1999年 4 月 千葉大学医学部附属病院薬剤部入職

2012年10月 千葉大学医学部附属病院薬剤部 試験・研究室室長

2013年 4 月 千葉大学医学部附属病院薬剤部 副薬剤部長

2017年 1 月 千葉大学医学部附属病院薬剤部 講師・副薬剤部長

2017年7月 千葉大学大学院薬学研究院 (兼務)

2020年10月 千葉大学医学部附属病院薬剤部 准教授・副薬剤部長

34 期の鈴木貴明と申します。平成9年3月に薬学科を卒業した後、千葉大学の大学院に進学し修士課程を修了しました。その後は平成11年4月より現在の職場である千葉大学医学部附属病院薬剤部に入職し現在に至っています。この間、国立大学病院を中心に薬剤師同士のつながりが広がってきましたが、その中でも理科大出身者の先輩、後輩や同期の仲間があちこちにいて、企業ばかりに就職していた印象の理科大卒業生が意外にも医療の現場で活躍していることに嬉しい思いをしています。でもやはり同期のつながりが何と言っても一番多く、今でも学会などに出張すればほぼ毎回のように同期飲みをしたり、数年前には製薬企業に勤めてアメリカに出向している同期の帰国に合わせ、当時つるんでいた仲間を招集して学生時代を懐かしみました。20年以上経って今も続く仲間とのつながりは理科大薬学部で得た大切な財産です。情報交換だけでも十分ですが、そのような同窓の仲間で産学連携や共同研究などに発展すれば理想ですね。ぜひこれからも同窓会で多くの卒業生と知り合って輪を広げていきたいと思っています。



【略歴】

2000年 東京理科大学 薬学部薬学科 卒業

2002年 東京理科大学 大学院薬学研究科薬学専攻 修士課程 修了

2005年 東京理科大学 大学院薬学研究科薬学専攻 博士後期課程 修了

(国立がんセンター研究所研修生として外部研修)

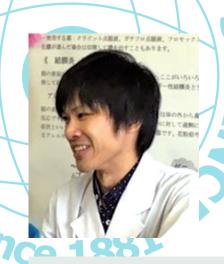
2005年 山形大学 医学部 助教

2009年 東京理科大学 薬学部 助教

2014年 日本薬科大学 講師

2018年 山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 准教授

私は東京理科大学薬学部、大学院薬学研究科を経て博士の学位を取得した後、大学の教員となりました。山形大学医学部、東京理科大学薬学部、日本薬科大学での勤務を経て、2018年より山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部で勤務しております。山口東京理科大学は、1987年に設置された東京理科大学山口短期大学を前身とし、1995年に4年制に改組、2016年より公立大学法人化され、2018年には薬学部が設置されました。母校とのつながりの深い職場で仕事ができる喜びを日々感じています。学生は様々な個性をもっていますので、その教育は思うようにいかないことばかりですが、それぞれの個性を生かしながら、様々な領域で医療に携わる人材、将来の薬学教育を担う人材の育成に貢献したいと考えています。大学で教育研究に携わる同窓生も多数いますので、様々な場面で情報交換をしながらお互いに切磋琢磨しています。また、自分とは異なる職に就いた友人の話に刺激を受けることも多く、その度に大学時代の友人はかけがえのない貴重な存在だと感じています。卒業後、どの分野に進んだとしても同窓生は大事な存在であり、頼りになる仲間です。同じ大学で学んだ仲間とのつながりを大事にし、様々な刺激を受けながら、広い視野を持って活躍していただきたいと願っています。



関谷 秀 (50期 平成25年 (2013年) 薬学科卒)

【略歴】

2013年 東京理科大学薬学部薬学科 卒業

2013年 埼玉県警察 科学捜査研究所 法医鑑定

2013年 株式会社エフアンドエフ 入社

2018年 東京理科大学 医療薬学実習 臨床講師

2020年 東京理科大学 薬学部 客員研究員

2021年 株式会社エフアンドエフ 人材開発部 学術課

日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師(がん)

大学を卒業してから、科学捜査研究所に就職しましたが、自身のライフスタイルに合わずすぐに挫折しました。その後、調剤薬局に就職し、目標もなく日々の仕事をしておりましたが、縁があって、臨床講師として理科大の医療薬学実習の手伝いをする機会を頂きました。そこで大学の先生方や先輩方と関わりを持つ機会が多くなり、そのうちに、薬局薬剤師としてもっと臨床や研究に関わりたいと思い始め、研究や学会発表等に参加するようになりました。現在は臨床知識をさらに身につけるために、専門薬剤師の制度を活用して、病院での研修も受けています。理科大との繋がりがあったからこそ、目標のなかった私が、現在のように様々なことに積極的に取り組むことができていると思っています。目標や遣り甲斐をなくしてしまっている方がいましたら、同窓会で刺激を受け、何かを見つけるきっかけを作るのはどうでしょうか。



蒲谷 里穂 (55期 平成30年 (2018年) 薬学科卒)

【略歴】

2018年 東京理科大学薬学部薬学科 卒業

2018年 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全第一部 医療機器安全課 (併任:医療安全情報室)

2019年 医療機器品質管理·安全対策部 医療機器安全課(併任:医療安全情報室)

2021年 医療機器品質管理·安全対策部 医療機器安全対策課 (併任:医療安全情報管理課)

私は薬学科を卒業後、医薬品医療機器総合機構に入構しました。初めは医療機器の市販後安全対策および医薬品の医療安全に関する業務を担当し、その後体外診断用医薬品の市販後安全対策を経験しました。機構には幅広い製品に関する様々な相談が寄せられ、過去の事例や通知を確認しながら対応を考えます。試験とは異なり正解はないため、毎回悩みながら最良の対応を探しています。最近では市販後不具合報告の報告方法に大きな変更があり、新しいシステムへの期限内の切り替えを促すための対応を担当しました。前例はないため、切り替えを実際に行う方の立場に立って案を考え、機構内や業界団体と相談しながら最終案を固めていく過程は大変やりがいを感じました。無事対応が終わった際には、サポートしてくださった上司や先輩、同期のありがたさを改めて感じました。他部署の同期との情報交換も、前例のない案件への対応案を考える際に貴重なきっかけになりました。私は、業務をこなすごとに、チームで各々の知識・能力を生かしながら協力して対応することの大切さを実感しています。これから社会人になる皆さんも、周りとの繋がりを大切にし、ご活躍されることを祈念しております。

東京理科大学薬学部同窓会について

設立趣旨

東京理科大学薬学部同窓会は、「会員相互の親睦を厚くし、会員の教養、学識および職能の向上を図るとともに、東京理科大学薬学部の教育および研究の発展に寄与することを目的」(会則第1章第3条)とし、設立されました。

会員の状況

2021年3月現在、会員数10.640名です。

- 年4回 定例会・懇親会を開催しています。どなたでも参加できます。日程はホームページをご覧ください。
- 年1回の**同窓会総会**において、学内外の講演者を迎え時折 の話題について講演会を開催しています。

主な活動

- 年に1度、同窓会会報「ふなかわら」を発行し、薬学部および東京理科大学の現況、同窓会活動、卒業生の短信などを会員にお知らせしています。
- 毎年、日本薬剤師会学術大会に合わせて、会場近くで**地区 交流会**を開催しています。普段定例会や総会に出席できな い方も、近くにお住まいであればぜひご参加ください。
- 各同期会の開催に補助金30,000円を支援しています。
- 卒業生・修了生に**記念品の贈呈**をしています。

会 費

年会費 2,000 円となっております。また、終身正会員制度(終身会費 50,000 円)があります。家族会員として、正会員の一親等親族および配偶者の年会費・終身会費は 1/2 になります。卒業前・修了前だけの特典として、会費一括納入割引制度を設けております。

【事務所・連絡先】連絡先は、東京理科大学薬学部内にあります。

〒 278-8510 千葉県野田市山崎 2641 東京理科大学薬学部同窓会 FAX: 04-7121-4531 E-mail: jimu@ridaiyakudo.gr.jp [ホームページ] http://www.ridaiyakudo.gr.jp/

東京理科大学薬学部同窓会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は東京理科大学薬学部同窓会と称する。

(事務所の所在地)

第2条 本会は事務所を千葉県野田市山崎 2641 番地 東京理科大学薬学部におく。

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦を厚くし、会員の教養、学識及び職能の向上を図るとともに、東京理科大学薬学部 の教育及び研究の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は上記の目的達成のため次の事業を行う。

- 1. 本会の目的遂行のため必要な印刷物の発行
 - 2. 研究会、講演会、その他各種集会の開催
 - 3. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会員

(会員の資格)

第5条 本会は次の会員をもって構成する。

- 1. 会 員 東京理科大学薬学部の卒業者及び大学院修了者
- 2. 正会員 会員のうち会費を納めたもの
- 3. 準 会 員 本学薬学部に在籍する学生
- 4. 特別会員 本薬学部現及び元職員及び本学薬学部出身者以外で本会の目的に賛同され、定例会で承認されたもの(但し、正会員であるものは除く)

(会員の義務及び権利)

第6条 会員は会則第3条の趣旨にのっとり、会長その他の要請に応じ本会の事業に協力しなければならない。

- 2. 会員は本会において定める年会費もしくは終身会費を納めなければならない。
- 3. 会員は氏名、住所、職業など身上に異動を生じた時には、遅滞なく名簿システムに登録しなければならない。
- 4. 会員は本会の事業に参加することができる。

第3章 役員

(役員の種類)

第7条 本会には次の役員をおく

会 長1名 定例会に於いて正会員の中より推薦し、総会の承認を得るものとする。

副会長5名以内 会長が正会員より推薦し、総会の承認を得るものとする。ただし、年齢、性別、職域などに偏

りがないように努める。

顧 問 同窓会の役員を永年務め、同窓会に功労のあった人を正副会長会で推薦し、総会の承認を得る

ものとする。

幹事 会長が、原則として各卒業年度の各学科から1名以上を正会員より選出する。

会計担当幹事 正副会長会において正会員の中から推薦し、総会の承認を得るものとする。

監査役2名 総会の承認を得るものとする。

(役員の職務)

第8条 各役員の会務は次の通りとする。

- 1. 会長は本会を代表し、会務を統理する。
- 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
- 3. 顧問は同窓会の運営に対して助言する。
- 4. 幹事は定例会を組織し、本会の運営を統轄し、管理する。
- 5. 会計担当幹事は本会の会計を統轄し、管理する。
- 6. 監査役は会計その他を監査する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は4年とし、再任を妨げない。但し、補欠役員の任期は前任者の残存期間とする。

第4章 会議

(会議の種別)

第10条 本会の会議は、総会、定例会、及び正副会長会とする。

(総 会)

- 第11条 総会は次の場合に開かれる。
 - 1. 定期総会 毎年1回会長が招集する。
 - 2. 臨時総会 定例会が必要と認めたとき及び2割に当たる正会員が特に開催を請求したとき。

(定例会)

- 第12条 定例会は、会長、副会長、幹事、会員、準会員、特別会員及び会長が認める者が参加でき、定期的に会 長がこれを招集する。
 - 2. 本会の目的を達成するために必要な事業について検討を行い、実施するものとする。

(正副会長会)

第13条 正副会長会は、会長及び副会長で構成し、会務の重要事項について議論するために、必要に応じて会長がこれを招集する。なお、会計担当幹事、監査役および顧問は必要に応じて、会長が召集する。本会は会長の出席と2名以上の副会長の出席をもって成立する。

(会議の議決)

第14条 総会の議決は、出席正会員の過半数の同意をもって成立する。可否同数のときは議長の決するところによる。なお、正副会長会及び定例会の議決は全体的合意で行う。

(総会の議長)

第15条 総会の議長は総会において正会員の中より選出される。

(定例会の議長)

第16条 定例会の議長は、会長がこれにあたる。

(総会の承認事項)

- 第17条 次の事項は総会の承認を得なければならない。
 - 1. 会長・副会長・会計担当幹事・監査役の選任
 - 2. 事業計画及び収支予算
 - 3. 事業報告及び収支決算
 - 4. その他定例会及び正副会長会が必要と認めた事項

(会議の記録)

第17条の2 議長は各会議における経過について、これを記録しなければならない。

第5章 庶務及び会計

(事業年度)

第18条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経 費

第19条 本会の経費は原則として会費及び寄付金、その他をもってこれにあてる。

(会費)

第20条 会費は、年会費2,000円とする。終身会員の会費(終身会費)は50,000円とする。ただし、特別会員に 会費納入の義務はない。

なお、会員の一親等親族及び会員の配偶者の、年会費及び終身会員の会費は1/2とする。

第20条の2 卒業前(大学院生も含む)の会費の一括納入に関しては以下のように扱う。

10年会費 18,000 円 (卒業後は 20,000 円) 終身会費 30,000 円 (卒業後は 50,000 円)

第6章 会則の改正

(会則の改正)

第21条 本会則の改正は、正会員がこれを必要と認めた場合、改正案を定例会に提出し承認を経て総会にはかることができる。この場合、総会への提案者は定例会とする。

付 則

(平成15(2003)年7月26日改正)

会則は平成 15(2003)年7月26日より施行する。

(平成 16(2004) 年 7 月 24 日改正)

会則は平成16(2004)年7月24日より施行する。

(平成17(2005)年7月23日改正)

会則は平成17(2005)年7月23日より施行する。

(平成25(2013)年7月27日改正)

会則は平成25(2013)年7月27日より施行する。

(令和元(2019)年7月20日改正)

会則は令和元(2019)年7月20日より施行する。

(令和3(2021)年7月20日改正)

会則は令和3(2021)年7月20日より施行する。



東武アーバンパークライン(野田線)運河駅





同窓会が植樹したセイヨウトチノキ



東京理科大学薬学部同窓会へのお問合せ

【事務所・連絡先】

東京理科大学薬学部 同窓会事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内16号館1F

FAX: 04-7121-4531 E-mail: jimu@ridaiyakudo.gr.jp

【ホームページ】

http://www.ridaiyakudo.gr.jp/

行事などに関する最新の情報を掲載しておりますので是非ご覧下さい。